

高洲・高浜地区学校適正配置「高浜第二小学校保護者・地域住民対象説明会」報告

1 日時・会場

平成21年7月18日（土） 午後1時30分～3時
高浜第二小学校体育館

2 参加者

高浜第二小学校保護者・地域住民等	18人
教育総務部企画課職員	3人

3 資料

- ① 高浜第二小学校の学校適正配置に関する平成20年度までの主な協議経過
- ② 平成21年度に算出した推計による高浜地区の状況
- ③ 「学校適正配置」リーフレット

4 概要

(1) 教育委員会挨拶

本説明会の趣旨等を説明（資料①参照）

ア 高浜第二小学校の学校適正配置に関する平成20年度までの主な協議経過について

イ 学校適正配置に伴う高浜第二小学校の中学校区の取り扱いについて

(2) 職員紹介

(3) 高浜第二小学校の学校適正配置について

ア 期待される効果と統合に伴う教育環境整備等（資料③参照）

イ 平成21年度に算出した推計による高浜地区の学校の状況（資料②参照）

ウ 今後の進め方

本日の説明会の状況を8月31日（月）に開催する高洲・高浜地区地元代表協議会で報告し、協議を進める。

(4) 質疑応答 ※主な質問・意見（Q）と回答（A）

Q 資料を見ると、仮に高浜第二小学校と高浜第三小学校とを統合すると12学級となるようだが、今後子どもたちの数が減り、11学級以下になった場合にはどうするのか。

A 高浜第二小学校も高浜第三小学校も単学級の状況が続くことが予想されるので、まずこの状況を早く改善していきたいと考えている。27年度までの推計によると、統合校は、12学級規模を維持できると予想される。統合校に特別支援学級を設置できれば13学級となり、専科教員を配置することも可能である。

- Q 資料①「学校適正配置に伴う高浜第二小学校の中学校区の取り扱いについて」の2(2)にある「個別に対応する」という文言だが、(1)と同じように希望すれば磯辺地区の中学校へ進学できるとしてよいか。できれば、(1)と同じ文言にしてほしい。以前の説明会でも言ったが、過去に「磯辺第二中学校の学区からは変えない」という教育委員会の約束があったのに、今回こういう状況となっている。口約束ではなく、文書で確認したい。
- A (1)と(2)とは、在校生と未就学の子どもたちとを分けて記述しているだけであり、内容は同じと捉えてほしい。この文書は、「高洲・高浜地区」と「磯辺地区」の両協議会で示すとともに、教育委員会のホームページにおいて公開しているものである。
- Q 統合しても高浜3丁目の子どもたちが磯辺第二中学校に進学できるとすると、高浜中学校の規模が小さくなる。高浜中学校を統合する計画はあるのか。
- A 高洲・高浜地区の協議会では、現在高洲第一中学校は適正規模校であり、仮に高浜中学校と統合すると規模が大きくなるため、今後の状況を見据えながら継続して審議することとしている。
- Q 高浜中学校が小さくなり、統合等があった場合に、学区についての約束が反故にされるのが心配である。
- A この文書の内容の通りである。
- Q 5ページの「高浜中学校の生徒数・学級数の推移」のイのシミュレーションであるが、この中には磯辺第二中学校へ進学する生徒数を想定しているのか、また、入学率を加味した数値なのかをお聞きしたい。また、6ページの「高浜中学校の生徒数・教員配置状況等の平成21年度と20年度との比較」の中の初任者指導教諭の対象となっている教員は何人か。
- A 統合した後、高浜3丁目のうちのどれ位の子どもたちが磯辺地区の中学校に進学を希望するのかは、現在の段階では不明確である。入学率も変化するだろう。したがって、イの表は住民基本台帳上で、入学率も加味せずに加えている。高浜3丁目の子どもたちが加わった時の最大値と考えてもらえばよいだろう。ちなみに今年度の推計における高浜中学校の入学率は、0.949である。初任者指導教諭の対象教員は詳しくはわからないが、複数名いると考えられる。
- Q (資料②から)今年度、教育委員会が高浜中学校に対して様々な支援を行っていることは理解できた。もし高浜3丁目の子どもたちが全員磯辺の中学校に進学すると、高浜中学校は平成24年度に7学級となってしまふ。そういった場合でも、学校の状況を見て教育委員会として、今年度のように教員配置等の配慮をしてくれるのか。
- A 市内のどこの学校もそうだが、学校の状況により必要な支援は行っていく。

- Q 初めて説明会に参加した。先ほどの説明では、適正配置による良さを述べられていたが、期待される教育環境の変化は望めないのではないか。学校の規模よりも、子どもたちを指導する教員の意識の問題であろう。初めて参加する人でも納得できる説明がほしい。また、未就学の子どもを持つ保護者への説明をしっかりと行ってほしい。
- A 適正規模になることで期待される効果については、資料③（リーフレット）で説明したとおりである。このリーフレットは、これまで開催してきた各地域の説明会や地元代表協議会の中で協議されてきた内容や現場の教員の意見等をまとめたものである。高浜第二小学校の適正配置に関わる説明会については、本日の説明会以外に、平成19年度からこれまでに高浜第二小保護者対象説明会、稲毛高浜南団地自治会対象説明会、高浜6丁目自治会対象説明会、高浜第二小に関わる保護者・住民対象説明会と大きなものでも4回、保護者会や自治会の役員レベルの説明については、それぞれ2回以上行ってきた。今後も必要に応じて説明会は行っていく。周知については毎回きめ細かく行っており、今回も、保護者への案内だけでなく、各自治会にお願いして、案内を掲示・回覧いただくとともに、自治会に所属していないブリリアや戸建ての方にも対しても周知を行った。
- Q 小さい学校だと不安もあるが、少ない人数のよさもあり、高浜第二小学校と高浜第三小学校とが統合するのは残念である。保護者としては小学校が近くにあるから安心できる。統合の場所は、高浜第三小学校の場所に決まっているのか。また、跡地はどのようなになるのか。例えば、市が売却して、マンションやショッピングセンターになることはないのか。
- A 統合の場所については、統合の合意が得られた後、地元代表協議会で協議していく。跡地については、リーフレットにもあるように、地域の要望を踏まえて、全市的な行政施策との調整を図りながら、有効活用を検討したい。千葉市初の統合校である花島小学校の跡施設である旧花見川第五小学校は、地域施設としての開放やアトリエ、教育委員会関係の施設等に有効活用することになっている。
- Q 統合するとなると、学校の先生方にも負担がかかる。小規模校では、もともと教員の数が少ない中で頑張っているのだから、準備段階から学校へ支援できるような体制作りをぜひ検討してほしい。今後、統合に向けて実際に動き出す時には、学校の相談窓口となる所が必要であり、教育委員会としての体制作りが重要だと考える。
- A 統合の合意が得られた後に設置される統合準備会には、校長先生をはじめとした現場の教員と保護者の代表だけではなく、教育委員会の所管課担当も参加して統合に向けた具体的な準備を進める。花島小学校では、統合準備に9ヵ月程しかかけなかったが、その後の関係者からの聞き取り調査により、少なくとも1年間の準備期間は必要との声があり、教育委員会としても重く受け止めている。この反省を踏まえ、準備を進めていきたいと考えている。統合準備に関しても、これまで通り、企画課が窓口となり対応することになる。

- Q 企画課職員を増員して、十分な対応をお願いしたい。
- Q 地元代表協議会に参加している者だが、高浜第二小学校と高浜第三小学校との統合はまだ決定しておらず、統合しないという選択肢もあるということを確認したい。高浜地区に多い外国人の問題も耳にしており、どのように改善するのか、具体化していないと話がスムーズにいかないと思う。また、今日の説明会は日にちの設定が悪かったようだ。未就学児を持つ保護者も含めた説明会を今後も開いてほしい。
- A 高浜第二小学校と高浜第三小学校との統合の方向性については、「高洲・高浜地区地元代表協議会」で十分協議していただいた結果である。また、今回の日程については、関係自治会や保護者の代表の方と打ち合わせを行って決めたことである。周知についても、先ほど述べたとおり、自治会にも協力いただききめ細かく行った。
- 高浜地区には、外国籍あるいは海外から日本に移住された方が多いことは確かである。先程資料②で説明したとおり、今年度高浜中学校には日本語指導協力員を昨年度より1日多い週3日派遣している。この指導員は、高浜第一小学校にも派遣されており、両校の状況をよく知っている中で、より適切な指導ができるものとする。高浜第一小学校は、外国籍あるいは海外から日本に移住された方の子どもが高浜地区で最も多い小学校であるが、そういった方のお子さんたちの支援を行う外国人児童指導教室『なのはな学級』を設置して、専任教員の配置と児童の使う消耗品や備品を措置している。また、『なのはな学級』で発行している「なのはな通信」や学校からの重要なお知らせは、中国語に翻訳して関係するご家庭に配布している。この問題は教育委員会だけで解決できるものではないが、学校教育に係る内容については、今後も教育委員会として適切に対応していく。
- Q 高浜第二小学校と高浜第三小学校との統合は、まだ決まっていないということだが、磯辺第三小学校との統合を検討することは可能か。磯辺第三小学校と統合して磯辺第二中学校へ進学できる方が安心である。磯辺第三小学校への通学も認めてほしい。
- A ご意見としていただいております。「高洲・高浜地区地元代表協議会」では、子どもたちの教育環境をいかにすべきかとの視点で真剣な協議を行った結果、高浜第二小学校と高浜第三小学校との統合が妥当であるという方向性を示されており、高浜第二小学校保護者と教職員の会で行ったアンケート調査でも、約7割の方がこの方向性に賛同いただいている。本日の説明会は、この決定を踏まえて「高洲・高浜地区」の協議会の要請を受けて開催したものである。なお、「磯辺地区」の協議会において、現在、小学校については、話し合いのたたき台として磯辺第一小学校・磯辺第二小学校・磯辺第四小学校の統合の方向性が示されている。また、現在、中学校の統合についての協議が進められている。